



球技大会を開催しました

7月6日、7日は両日ともあいにくの雨でしたが、熊高生はそんなことぐらいではめげません。全校生徒が体育館で燃え上がりました。6日は男女バレー、7日は男女ソフトバレーが行われ、初日は看護科3年生が優勝、2日目は男子が3D、女子は3Bが優勝しました。



上富田町フラワータウン事業に参加しました

花の植え替えを通して、小中学生や地域の方々との交流を深めながら、花や生き物を大切に作る心を育て、すべてのものに思いやりを持てる子供に育てて欲しいという願いのもと、熊野高校生（園芸セラピー選択生）が市ノ瀬小学校と市ノ瀬老人会の皆さんと一緒に花の移植（鉢上げ）作業を行いました。この日鉢上げを行ったのはマリーゴールド、サルビア、アリッサムでした。



熱中症予防教室を開催しました

1年生を対象に「熱中症予防教室」を開催しました。今年は上富田町保健センターの坂本保健師さんと木村保健師さんが講師として来てくれ、熱中症の応急処置や予防のポイントについて、お話をしてくれました。また、保健委員が「手作りスポーツドリンクのつくり方」を実演したり、寸劇（三谷先生も出演しました）をとおして熱中症への対応をまとめたりしました。



紀勢自動車道開通式典に出演しました

南紀田辺IC～南紀白浜ICの開通をお祝いする式典に熊高吹奏楽部、サポーターズリーダー部が出演、式典を盛り上げました。まず、吹奏楽部が昨年のJPOPをメドレーで演奏。最後のアンコールにはグリーンズの「キセキ」で応えました。続いてサポーターズリーダー部がダンスを披露。ヒップホップのリズムに合わせたエネルギッシュなパフォーマンスと会場と一体となったダンスで式典は大いに盛り上がりしました。



看護科臨地実習 これまでのまとめ

新年度が始まって3ヶ月あまり。看護科の学生たちが取り組んできた臨地実習（病院実習）をまとめました。看護科2年生は火曜日に実習があり、これまでに5回、白浜はまゆう病院や南紀医療福祉センターで基礎看護、老年看護の実習を展開しました。看護科3年生は、年間4週間の実習が計画されており、これまでに1週間（5日間）、南和歌山医療センターや白浜はまゆう病院で、基礎看護の実習を展開しました。専攻科2年生は年間15週間の実習が計画されており、これまで9週間の実習が終了しています。この間、成人看護学実習・精神看護学実習・老年看護学実習・母性看護学実習・小児看護学実習・在宅看護学実習をグループに分かれて展開しました。看護科の実習は朝から夕方まで、各病院や施設で行い、夕方校内に帰校し、翌日の実習目標やレポート作成に取り組んでいます。



「稲成なす」育成プロジェクト

皆さんは「稲成なす」というナスをご存じですか。和歌山県田辺市稲成地区のオリジナル品種で、百年以上の昔から稲成町で栽培されてきたナスです。皮がやわらかく、アクもないのでどんな調理法でも美味しくいただけるとのこと。ところがこのナス、収量が少なく、栽培も難しいことから生産者も減り、種を自家採取して栽培を守っているらしいのです。そこで、熊野高校農業クラブが立ち上がりました！稲成なすというご当地野菜を守るべく、「稲成なす」育成プロジェクトを立ち上げたのです！プロジェクトの様子は本校ホームページで紹介していますので是非ご覧ください。



熊高教育協議会総会が開かれました

熊高教育協議会は、地域住民・熊野高校OB・保護者・熊野高校（教職員・生徒）で構成されています。平成13年度より、熊野高校の生徒たちを「地域が一体となり支援していこう」と、様々な提言をいただいています。特に平成16年度からは、財政面でも「地域への関わりを重視した活動」や「教育環境の整備促進」への支援を展開し、大きな貢献をいただいています。この度、上羽寛会長、小出隆道上富田町長をはじめ30名の会員様の出席を頂き27年度の総会が開催されました。

